

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚扁平上皮癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	皮膚有棘細胞癌 93 例の組織学的検討	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ( 1 )	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ11-4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( IV )	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID	1990004834	
	雑誌名	Skin Cancer	
	雑誌 ID	(0915-3535)	
	巻	2	
	号		
	ページ	152-155	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 1 )	
	発行年月	1 9 8 7	
	著者情報		氏名
筆頭著者		小林まさ子,	千葉大学医学部皮膚科
その他著者 1		長谷川隆,	千葉大学医学部皮膚科
その他著者 2		藤田優,	千葉大学医学部皮膚科
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	リンパ節転移のリスク因子の検討	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	千葉大学病院	
	対象者	外科的治療を行った皮膚原発有棘細胞癌 93 例	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず ( 1 )	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず ( 3 )	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず ( 22 )	
	介入 (要因曝露)	組織所見 (深達度、分化度など)	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	リンパ節転移	1.主要 2.副次 3.その他 ( 1 )
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
主な結果	原病死は11例にみられ,そのうち5例は原発巣手術後のリンパ節転移によるものであった.原発巣の悪性度の組織学的指標として,腫瘍の深達度,腫瘍細胞の分化度,異型度,浸潤度,リンパ管内侵襲度の5項目について,リンパ節転移との関係を検討したところ,深達度と浸潤度がリンパ節転移を予測するのにもっとも有用であった		
結論	深達度と浸潤度がリンパ節転移を予測するのにもっとも有用であった。		
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原 久	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 ( IV ) 従来から予測されていた多くのリスク因子の中で、浸潤パターンと深さが最も重要であることを本邦人について初めて明らかにした貴重な報告である。	